

新宮山彦ぐるーぷ第1954回

## 南奥駆道(玉置神社)玉置辻(五大尊岳)台風後の点検巡視

◇実施日；2017年11月26日(日) 晴後曇り・小雨  
◇参加者；川島 功、児嶋道夫、畑林清子・生熊千満子、  
上村洋司・和美、栗原真行、梶野照雄。 8名。

先週の山在峠(五大尊岳)手前迄の台風被害調査に続き、玉置神社(玉置辻(本宮辻))五大尊岳迄の奥駆道の点検巡視を実施した。集合場所の熊野本宮館駐車場に午前7時40分着、しばらくして上村、栗原(單車)、川島車が着く。本日の行程説明の後、川島、梶野車に分乗して玉置辻(本宮辻)に向かった。



玉置辻を出発

10分後、最初の倒木(倒木の後は小土砂崩れ)

午前8時35分玉置辻に到着、気温8℃準備をして歩き始める。道路から奥駆道に入った所は、以前林道拡幅工事の枝混じりの土砂で埋め尽されて、通行困難な状況だったが、土砂は撤去されて整備されていた。一旦林道に上がり歩いて再び奥駆道に戻ってすぐ、大きな雑木倒木が道を塞いでいた。規模は小さいが土砂崩

れもあり、通行困難の状況だった。それでも複数人が歩いたように、倒木上方の枝を越える形で踏み跡が付いていた。チェーンソー2台で慎重に数箇所を切除し、上部に残って落ちそうな太い枝も全て下に落とすとした。この場所の上にも林道があり、土砂崩れは林道拡幅の際に除けられた土砂が崩れ落ちたものと思われる。



慎重に数箇所を切除

大平多山分岐付近で切除

本日の参加者・大森山

奥駆道には、枯れ枝が多数落ちていたが、8人がそれぞれストックなどで除けながら順調に進んだ。大平多山分岐を過ぎたあたりで地上3m付近で折れ、登山道に横たわっていた杉の木を切除、10時半に大森山(1078m)に到着した。

大森山から児嶋・梶野の2名は、車回送と玉置神社(玉置辻)間の奥駆道調査のため引き返し、残りの6名は五大尊岳を越えて、金剛多和までの点検巡視となった。

大森山山頂で6名と別れた児嶋・梶野は、10分ほど下った地点で登山道に少し突き出した倒木を切除、その後は一気に玉置辻まで下った。11時40分玉置辻に到着。奥駆道の入口に以前取り付けた「通行困難」の標識を外した。ベンチに座って昼食を摂る。

風が強くなってきて、体感気温も少し下がった。昼食後、車一台で玉置神社の駐車場へ向かう。道路脇には何カ所も倒木を切った跡が見られた。駐車場はほぼ満車で、売店も繁盛しているようだ。売店の「ご主人に声をかけてから奥駈道へ急いだ。



大森山東斜面で



整備済みで撤去



玉置神社・奥駈道分岐



玉置神社から玉置辻への奥駈道の支障巨大倒木



途中、戻ってくる観光(参拝?)客10名程とすれ違う。登山スタイルの我々は奇異に映ったかもしれない。15分ほどで奥駈道(玉置辻へ)分岐に到着。奥駈道に入って直ぐ、100mも行かない地点に巨大な倒木があった。枝の一部は既に切除されていたが、直径70cmを越えるであろう巨木が登山道をほぼ塞いでいる。下に50cm位の空間があるので、腹ばいの状態で通過、他の倒木は上を乗り越えて通過できた。倒木の状態は安定しているようなので、通過に特に危険は無い様に思える。



倒木発生場所



約20分で玉置辻へ



玉置辻の通行止め案内標識

倒木現場は玉置神社の境内(神域)なので、倒木の切除・撤去、処理は神社にお任せするしかない、当分この状態が続くものと思われる。玉置神社の奥駈道分岐には、通行止めの案内は無かった。奥駈道に支障・障害があったのはここだけで、玉置辻までは快適な登山道で、20分弱で玉置辻に到着。靴を履き替えて6名の下山地点の上切原(山在峠への林道口)に向かった。その後、下モ谷林道の通行止めゲート地点で待機。

## 行動タイム

熊野本宮館 P 07:55 → 08:35 玉置辻 08:40 → 10:00 大平多山分岐  
 ↓ 10:30 大森山 10:35 → 11:40 玉置辻(昼食) 12:05 → 12:30 玉置  
 神社駐車場 ↓ 12:46 奥駈道分岐 ↓ 13:05 玉置辻 ↓ 14:15 上切原  
 (山在峠への林道口) ↓ 14:20 下モ谷通行止めゲート地点 ↓ 14:45  
 合流(ロープー接待) 14:55 → 15:05 熊野本宮館 P 15:15(解散)。  
 (記: 梶野)

## 大森山と五大尊岳と金剛多和班

大森山と金剛多和班は、栗原・上村夫妻・畑林・生熊・川島の6名である。

大森山(1078m)山頂で児嶋・梶野氏と別れ、緩やかな尾根沿いの雑木林を辿り、雑木腐倒木を除けながら進む。生木倒木が在り鋸持参の上村氏が切除。

「大水の森」三角点を経て緩やかな尾根を下り、石柱道標から南南西へ下る地点は、風当たりが強く以前風倒木が発生した所であり、発生を想定したが異常なし。

落葉の積もった急斜面の奥駈道は、上村氏が小竹箒で掃き除けて下さり、後続者は随分と歩き易い。



生木倒木切除



大水ノ森(三角点)にて



急斜面の落葉掃き除け

旧大森山撒き道分岐(山腹大崩落で通行不可)に下ると、赤松と雑木の腐倒木が数本在り、大きい赤松の腐倒木は二人掛りで道端に寄せる



旧大森山撒き道分岐に倒木が道を塞ぐ。除去後

切畑辻に到着

尾根の山腹を捲いて少し登ると切畑辻で、風は弱いが北寄りの風を避けて尾根下の緩やかな斜面で個々に昼食。

汗をかき、座っていると寒いのでセーター等を着る。動かないと体が冷えて体感が寒く感じるので、昼食を早目に切り上げて歩く事にする。



切畑辻で北寄りの風を避け昼食



切畑辻を出発



五大尊岳のコル(鞍部)に下ると、赤松の大木が根返りして、アセビの木にもたれている。倒れた赤松幹下が通れるので、じやまなアセビ小枝及び小径木雑木を約5本切除して迂回路を作る。直ぐに小径木倒木が在り、畑林さんが鋸で切除し除けて下さる。上村氏は、小竹箒・熊手を何処かで置き忘れたと捜しに戻るが、置いた場所が判らず戻って来る。



根返りの大木赤松



赤松幹下をくぐる



迂回路を作る

五大尊岳北峰に登る途中の痩せ尾根で、生えていた桧大木2本が、根返りしていたが、幸いに根返りした脇を支障なく通行出来た。



鋸で切除



桧大木の根返り風倒木



根返り脇の迂回路



五大尊岳・不動明王像



紅葉の五大尊を下る



五大尊岳南峰で休む

一登りすると五大尊岳北峰で、安置された不動明王像等には、台風の影響が見られない。

紅葉した急斜面を下り、急斜面を登り返して五大尊岳南峰(509m)に13時頃に到着し小休止。梶野氏に現在位置を知らせるため、携帯電話をかけるが通信不能。雨粒が感じられ急いで出発。急勾配の露岩混ざりの尾根は、上村奥さんが先頭で下り、一緒に且那と栗原氏が続き、遅れて畑林・生熊・川島が、離れないように追って、休憩なしで一気に下り14時に金剛多和着。



金剛多和に到着



上切原へ下る道にて



迎えの車(コーヒー接待)

金剛多和からの下山ルートには、先週切除しなかった支障になる赤松の先端部を上村氏が切除し、大きな腐倒木は生熊・畑林さんで除けて下さる。

この頃から雨が少し降り出し、栗原氏は折畳み傘を出して歩かれたが、山腹崩落地点では略雨も止み、傘をしまわれた。

山腹が大崩落し崩落防止工事箇所付近で、梶野氏から「山在峠林道口に着いている、今何処？」と携帯電話。「崩落防止の工事箇所を通過中」を返答。「コーヒーを煎れて待っている」と返信がある。

しつとり濡れた林道路面は、前回の乾いた路面より滑り難く順調に下れる。下モ谷林道の通行止めゲート地点まで、迎えの車を乗り入れて待機地点に14時45分に到着。

児嶋氏の携帯コンロは調子が悪く、梶野氏の卓上コンロで湯を沸かしてコーヒーを煎れて下さり、心配した雨も殆んど止み無事下山し、玉置神社へ玉置辻巡視班と合流し、熱い美味しいコーヒーに安堵する。

車で世界遺産・熊野本宮館Pに戻る途中から雨が降り出し、熊野本宮館に着くと本降りになった。

19日と本日の行事に参加頂き、お陰様で通行止め区間の玉置神社へ玉置辻へ七越峰間の点検巡視を無事終え「玉置神社から下った地点の倒木は、未処置であるが、注意をして通り抜けが可能であること。玉置辻へ七越峰間は、倒木処理等によって普段の奥駆道の状態に復旧を確認して通行止め解除」になった事のお礼を述べ解散とした。

伊賀市から2週続けてご参加頂いた栗原氏本当にお疲れ様でした。



熊野本宮館で終礼・解散

### 行動タイム

大森山(1078m)10:35→10:50大水の森(三角点)→11:20旧大森山  
撒き道分岐→11:30切畑辻(昼食)12:00→12:50五大尊岳北峰→  
13:00五大尊岳南峰13:05→13:55金剛多和14:05→14:25下モ谷林  
道終点→14:45下モ谷車通行止めゲート地点・合流14:55→15:05  
熊野本宮館P15:15(解散)。(記：川島)